

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応

～新型コロナウイルス感染症についての相談、検査や治療の流れ～

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く。
- ・強い倦怠感や呼吸困難がある。

※上記のいずれかに該当する場合は目安に関わらず、重症化しやすいとの報告はなし。

※高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患を有する者は2日以上
※妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに相談

【検査対象者】

- ①発熱(37.5度以上)または呼吸器症状 かつ 新型コロナウイルス感染症であることが確定していた者と濃厚接触がある。
- ②発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 発症二週間以内に、流行地域に渡航又は居住していた又は流行地域に渡航又は居住していた者と濃厚接触歴がある。
- ③発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 入院を要する肺炎が疑われる。
- ④医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う。

※流行地域については、厚生労働省のホームページで御確認ください。

